

2022年11月22日
東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社

北東北に新しい観光列車「ひなび」がデビューします

- JR東日本盛岡支社では、2023年度冬頃から新しい観光列車「ひなび」の運行を開始します。
- 2両編成のディーゼルハイブリット車両「リゾートあすなろ」を改造し、岩手県と青森県の各線区を運行します。
- このたび列車名とロゴマーク、エクステリアデザインが決まりましたのでお知らせします。
- 「北東北の自然」と「地域とのつながり」をコンセプトに、忙しい日常から離れのんびりとできるような列車の旅を提供いたします。
- JR東日本盛岡支社は、「ひなび」を通じて北東北の魅力を存分に楽しんでいただけるように地域の皆さまと共に取り組んでまいります。

1. 列車名 「ひなび(陽旅)」

この列車に乗って岩手・青森の自然を車窓から感じ、「ぬくもりのあるゆったりとした旅」をしてほしいという想いから名付けました。

2. ロゴマーク



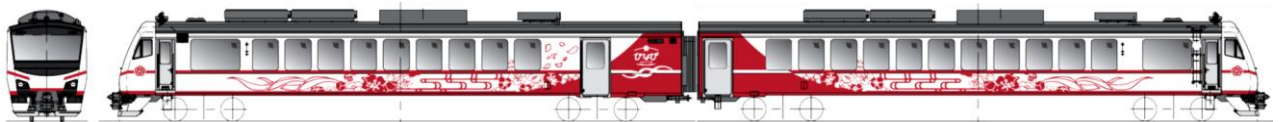
ロゴマークは自然の中を走行するひなびと、花結びや文字のつながりから、人と人を結ぶ助け合いや絆を意味する「結び」を表現している。

3. エクステリアデザイン (外装)

(1) 配色 盛岡支社管内の気動車に広く用いられた通称「盛岡色」と呼ばれる「白地に赤ライン」配色を採用。

(2) デザイン ・横のラインを「紐」に見立て先頭に水引の結びである「梅結び」を入れ地域と地域を結ぶ列車をイメージ。

・2両編成の中央に山を連想させ、波や川の模様、花吹雪などを配置して豊かな自然を表現。

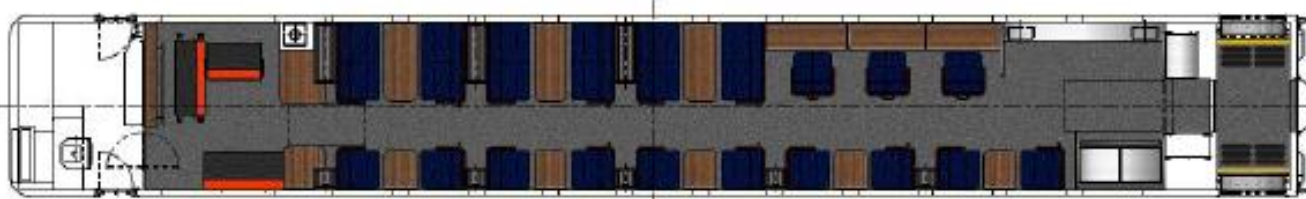


4. 車内レイアウト

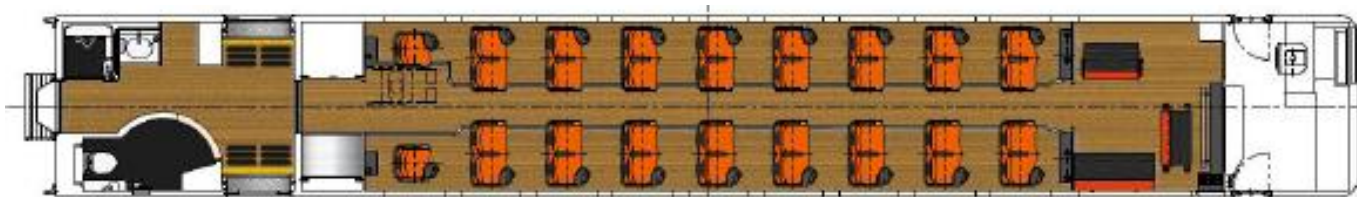
座席定員は 2 両合計で 59 名です。1号車はグループ旅行でおくつろぎいただけるよう 4人掛けボックスシート・2人掛けボックスシート等を中心とした車両です。2号車は2人掛けのリクライニングシートを中心とした車両です。どちらの車両に乗車しても広い窓から季節の移り変わりなどを楽しめます。

指定席料金ならびに車内サービス等については決まり次第お知らせします。

1号車(定員25名) ボックスシート中心の配席(4・2・1人用)



2号車(定員34名) リクライニングシート中心の配席



※ 2022年11月22日現在の情報です。デザインや車内レイアウト等に変更となる場合があります。

※ 写真やイラストはすべてイメージです。